

全国に誇れる魅力ある加西市をめざして 市長就任一年の軌跡

昨年7月29日、市長に就任させていただいてから1年2ヶ月余りが経過しました。その間、「市民が主役でお客様」という基本認識の下、市役所内部の行財政改革を進めるとともに、過去から積み残され、先送りされてきた諸問題に対しても鋭意取り組んで参りました。今月号は、その経過をご報告申し上げます。

旧三町の合併以来、市役所の管理手法はあまり改善されることなく、過去のやり方がずっと踏襲されてきました。目標を定め、その進捗状況を常に管理しながら、しっかりと成果を出すという、世間では当たり前の仕事の進め方が、市役所では殆どなされていませんでした。

十年一日の如く、同じような事業やイベントを毎年繰り返すだけでは、加西市はよくなりません。私は、まず職員の意識改革を促すため、自ら率先垂範しつつ、徹底した現場主義を実践してきました。その上で、新しい時代に合わせた自治体経営の仕組みづくりを進めているところです。

日常の業務をこなしながら、前例が無いことにチャレンジしたり、初めての取り組みを行うには相当エネルギーを要し、多くの困難を伴いますが、市民ニーズに応え、より質の高いサービスを低コストでタイムリーに提供できる市役所に変え、併せて業務効率化を図ることで財政再建を推進しなければなりません。

なお、既に「改革マニフェスト」という形で、改革項目とその目標値を整理し、現在、市民の皆様からご意見をお寄せいただいているところです。（市長）

■数々の先進的試み



- ①全国初の試みとして助役と教育長の全国公募
- ②近畿自治体初のバイオマスタウン構想。企業誘致にも成功。バイオディーゼル燃料(BDF)の利用実験
- ③経営戦略室(庁内連携の強化)収納課(滞納整理の促進)食材課の新設
- ④北条鉄道ステーションマスター公募や全国鉄道まちづくり会議の開催企画 など

■健全財政への努力

- ①収入役廃止と特別職の報酬カット(市長30%、助役20%、教育長15%削減)
- ②職員給与のカットと大半の特殊勤務手当を廃止
- ③民間委託の推進(上下水道業務やゴミ収集業務の一部)
- ④遊休資産(市有地や公用車など)の売却
- ⑤公共工事入札や調達コストの厳密化
- ⑥公共施設や公共サービスの原価を計算、受益者負担の考え方を導入
- ⑦特別会計や三セクも含めた連結の経営健全化 など

■職員の意識改革

- ①市長が全職員と面接して人事異動。昇格時などに報告書提出や面接試験
- ②適切な職場指導と信賞必罰の徹底
- ③職員研修会、市長メッセージ配信、市長表彰
- ④新しいことにチャレンジする組織風土づくり
- ⑤出来ないとの言い訳よりも、出来る方法を考える体質づくり
- ⑥成果主義人事評価の試行 など

全国的な飲酒事故の多発を受けて、先月末「職員の懲戒処分基準」の見直しを行い、全国で最も厳しい基準に改正しました。

また、2月17日の違法ストライキに参加した職員280名(訓戒5名、訓告12名、文書厳重注意107名、文書注意156名)並びに部下への指導が不十分だった54名の管理職(文書厳重注意)の処分を行いました。

皆さまのアイデア募集!

賀茂幼稚園、教育研修所(旧下里小学校)、丸山公園管理棟、古法華石彫アトリエ工館・研修施設、青少年センターなどの市有施設・市有資産を有効活用するために、市民の皆さんのアイデアをお聞かせください。グループホーム、喫茶店、レストラン、美容室、福祉施設など、自由な発想の提案をお待ちしております。具体的な提案がなければ、遊休資産として売却処分または一部賃貸することも検討したいと思います。（市長）